

井伊文子 いゑぶんし 歌人、隨筆家。大正六年五月（二十日）東京麹町、生れ（一九一七）。舊筑球王家尚昌の長女。昭和九年女子學藝院本科卒。十二年滋賀縣彦根の井伊家へ嫁ぐ。短歌は初の佐佐木信綱の師事と、二十七年以降新短歌を作る。

歌集 『中城まごころ』（尚文子名、昭和十一年七月十五日自刊、表現社）


『心の葦叢書』、『浄命』（昭和二十六年七月十五日自刊、表現社）


『心の葦叢書』、『佛桑花燃ゆ』（昭和四十七年四月十五日京都・

燈影舎）の他、『井伊家の猫たち』（平成十二年一月一日春秋社）等

がある。


井伊文子





井伊家の猫たち

井伊家の猫たち



彦根井伊家のお浜御殿に住まうのはもと野良の十一匹の猫たち

ほわっとしたまごわり、丸まった寝姿、甘える仕草。そんな猫との生活ごもちものエピソードを、新短歌と可憐なイラストを交えて描きつづけた集。

春秋社 定価（本体1700円＋税）

井伊文子
ほわっとしたまごわり
猫の可憐な日常